

武蔵野

仙北市立生保内中学校

学校報

NO. 29

平成24年 9月21日発行

http://www.city.semboku.akita.sc_obochu/index.html

学校アンケート集計結果

Part 2

今回は学校アンケートに寄せられた保護者の方々からの学校へのご意見に対してお答えしたいと思います。

生保内中学校は以前からいじめが多く、学校に来れなくなった不登校の生徒がいると聞いたりしますが、先生達はどうか考えてどう対処しているか？

★「いじめ」に関しては、生徒からのアンケートや「毎日の記録」、日頃の様子から、注意して見ているところです。また、言葉による暴力などで傷ついたり、学校に来られなくなった場合には、学年だけではなく全校体制で対応しているところです。今現在は、「いじめ」が原因で学校に来られなくなった生徒はいないと思っています。

「いじめ」に関しては、仲間外しや無視するというようなことはもちろんですが、言葉による心理的な苦痛も「いじめ」に繋がるのだということを先生達で共通理解をし、学級でも生徒達に事ある毎に話してもらっているところです。また、休みがちな生徒に関しては、電話等だけではなく訪問して実際の様子を伺うなど配慮しているところです。しかし、休みの原因となると友だち関係や先生との関係でもなく、本人も理解できていない場合もあり、解決するとなると難しい状況です。登校刺激を強めたり弱めたりしながら本人の精神的な回復を待ちたいものだと思います。今現在、不登校になり

そうな生徒もおりますが、全職員が全校の欠席者を把握するなど、学担、学年部と家庭との連携を密にして、休みが続かないよう気をつけているところです。

男子、女子共に言葉遣いの乱れが気になります。運動会の時、近くにいた3年女子がとても乱暴な言葉（ヤクザやチンピラが遣うような）で話していてとても驚きました。～中略～

また、道で会ってもあいさつをしない生徒が多いと思います。昨年までは明るい挨拶をする生徒が多かったように思います。先生方も同様です。5月頃、学校に用事があって行った時、玄関で若い男性の先生にこちらから挨拶したのに無視され不愉快な思いをしました。野球応援に行った時も（部外者と思われたかもしれませんが）気持ちの良い挨拶をしてくださる先生は少ないと感じました。暑さでお疲れだったのかもしれませんが……。挨拶や思いやりは家庭での躾が基本だとは思いますが、学校の方からもできるだけご指導いただきたく、お願いします。

★言葉の乱れは「いじめ」にも繋がるので、前にお知らせしたように、言葉の暴力も「いじめ」であるという認識で指導してもらっています。また、礼儀や思いやりの心からも場にあった言葉遣いをさせたいものだと思いますので、ご家庭でもご協力お願い致します。

また、明るい「あいさつ」は4月以降だいぶ良くなってきていると感じますが、まだまだ徹底されているというレベルまでは至っていません。職員の朝の会でも、我々職員の挨拶が良くないと生徒にも指導できないし、率先して示して欲しいとお願いしています。

「開かれた学校」を目指して学校の敷居を低くしているところですので、来校者の方に不愉快な思いをさせてしまったことはお詫びした

いと思います。学校では「明るい元気な挨拶」をめざして引き続き指導していきますので、ご協力お願い致します。

郡総体が終わって県大会出場、東北大会出場と子供達の努力の成果、結果について地域の人たちに報告等を行っているのでしょうか？他の学校では郡総体の組み合わせについても新聞広告等で何週間も前に知らせていますが、生保内中は一番遅いと思います。子供達で回覧を回すのも良いのですが、新聞広告等で伝える方法も考えてはいかがでしょうか？また、他の学校では、生徒が郡総体で頑張った成果、結果を学校前に垂れ幕を何枚も掲げ、生徒の頑張りを讃え、県大会に向けての子供達の頑張りを応援しているようですが、生保内中には何もなく、学校側の子供達への後押しが感じられません。寄付ばかり集めても地域の皆様に報告が遅くなったり学校全体の応援体制が少し残念なように思います。

★少し遅くなりましたが、今年度は県大会の結果と東北大会出場のポスターや垂れ幕を玄関や駅の壁に掲げました。また、郵便局前に設置された電子掲示板で流してもらいました。また、職員室前には各部の全県大会の活躍の様子を掲示しました。できるだけ学校としても地域や保護者の皆さんに生徒の活動を理解してもらい、応援してもらいたいと思っています。

さらに、総合体育大会や新人総体、春季大会という中体連主催の大きな大会については、抽選結果や大会報告などできるだけ早く皆さんにお知らせしようと担当が努力していますので、ご理解いただきたいと思います。今後は新聞折り込み等を多用しながらも早めにお手元に届くように努めていきたいと思っています。文化体育後援会の活動については、生徒たちの活動に非常に大きな支援となっております。県大会ばかりでなく、郡市総体などの大会参加費の援助もいただいております。県大会等では登録選手以外の部員の宿泊や輸送等は市などから支援されませんので助かっているところです。こちらの方も使い方や内訳等ガラス張りにしながらご理解いただくよう努力したいと思っています。

学級、部活動両面において、先生方には生徒指導に力を入れてもらいたい。子供達が救いの手を求めても、「どうせまた解決しないから・・・」とあきらめている声をよく聞く。真実が伝わらず、「わかってもらえない」と子供が感じることは、先生への信頼感が失われていることにつながるので、何とか先生方の力に期待したい。よろしくお願いします。

★今年度は「生徒指導の機能を生かした学校づくり」を重点に掲げ取り組んでいるところです。その根底には先生と生徒達の信頼関係が重要になってくると考え、指導をお願いしています。ややもすれば事後指導や問題が起きてからの指導になりがちですが、そうならないように、そうなる前の積極的な生徒指導を日々の活動の中で繰り返し行ってもらっています。部活においても、勝負の前にはまず挨拶や整理整頓など技術的なこと以外がしっかりできるよう指導をお願いしています。まずは誰もが安心して居心地の良い学級、学校づくりを目指しています。何でもすぐには解決しないかもしれませんが、身近にいる先生にご相談いただきたいと思います。

